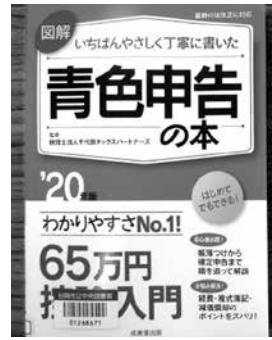


【2月の休館日】3日(月)・10日(月)・11日(火)・17日(月)・24日(月)・27日(木)

もうすぐ確定申告

▼確定申告前に、申告書の書き方や疑問に思っていることを本でチェックしてみましよう。(関連情報9ページ)



新着CD・DVD情報!

貸出中の場合は予約ができます。是非ご利用ください。

CD

・「瞬間的シックスセンス」／あいみょん

NEW LOVE

・「パプリカ」／※シングル

CD

・「イマージュ19」

・「松之丞講談 シブラク名演集」

・「ターンテーブル」／竹内

まりや

・「それいけ!アンパンマン えいごでうたおう」 ほか

DVD

・「グリーンブック」

バレンタインデーにおすすめの本

恋って何ですか?—27人がすすめる恋と愛の本—

河出書房新社/編

▶モヤモヤとしたあの子への気持ち…。これって、もしかして恋!? 小説家やアーティストが大切にしている「恋の本」を紹介するブックガイド。恋について考えたとき…きっとあなたの力になってくれる本が見つかります。12月に中央図書館に来た作家北村薫先生のおすすめの本も紹介されています。

図書館YAコーナーにあります。ぜひご覧ください。



- ・「シェイプ・オブ・ウォーター」
- ・「バードマン/あるいは」
- ・「ボヘミアン・ラプソディ」
- ・「アリー スター誕生」
- ・「万引き家族」
- ・「日日は好日」
- ・「ビブリア古書堂の事件手帖」
- ・「おしりたんてい4・5・6」
- ・「まく子」

2月のおはなし会

◆こども図書館本の森

午前10時30分から

おはなし玉手箱…1日(土)

ひよこのおはなしかい…13日(木)

むかしむかしのおはなし会…

15日(土)

◆中央公民館

午後2時30分から

おはなしフレンズ…8日(土)

時の記憶

シリーズ166

「時の記憶」のあゆみ

問文化振興課 (支所) TEL 43-1111 (内線 1323)

本

紙にて毎月連載されている「時の記憶」も、今回でシリーズ166を迎えました。石岡市と八郷町の合併後、平成17年11月1日号の『広報いしおか』でスタートした「時の記憶」では、市内の歴史・文化に関する様々な情報をお届けしてきました。

限られた紙数の中で情報を提供することは、簡単なことではありませんが、シリーズ200を屈指し、今後も幅広い視点で記事掲載を継続していきたいと思えます。このほど、これまでの掲載記事(シリーズ1~100)を1冊の本にまとめた『いしおか時の記憶』が発刊されました。石岡市内の歴史や文化を知る手がかりとして、手軽な読み物となっています。また、こうした郷土を見つめ直すきっかけづくりとして、ふるさと歴史館にて「時の記憶」のあゆみを回顧する企画展を開催します。



▲『いしおか 時の記憶』表紙写真

ふるさと歴史館企画展

広報いしおかの小さな記事—時の記憶—

期間: 2月7日(土)~5月6日(日)

場所: ふるさと歴史館 (総社1-2-10)

開館時間: 午前10時~午後4時30分

※月曜休館 (月曜祝日の場合はその翌日)

俳句

いしおか俳句同好会

小幡 岡野 はつ子
寒日和インクの臭う活字棚
東田中 川島 市郎
短日や明日やすることをメモにする

高浜 小池 さき子
人の世の災禍知らずや浮寝鳥
東大橋 醍醐 正夫
猫の手も借りそこなつて賀状書く

北府中 野村 畝津子
霜枯れの周辺雑多老家族

やさと俳句会

太田 越智 旅舟
来る年の日々大切に日記買ふ
柿岡 野村 京子
石路の花けふも氣力をもらひけり

短歌

石岡短歌同好会

上曾 岡野 衛
霜月の山間の田に案山子おり
朝の光に顔をかくして

東大橋 森 美千瑠
めぐり来る季はやくして木々の枝に下がる烏瓜いよいよ赤し

南台 海老澤 明子
秀麗とこれをば言ふかわが窓の筑波が夕日とともに消えゆく

八郷短歌会

柿岡 小林 渥子
年末はついで動きすぎブレーキのはずの齢も歯止めとならず
月岡 菱沼 む免子
霧晴れて紅葉の山々陽に映ゆるゆりの郷へと妹と向かう

俚謡（都々逸）

石岡俚謡会

東石岡 惣野代 英子
菊の香りが 客足止めて
街の広場の 文化祭

府中 小川野 蛙
蒸気が上がつて 広がる香り
母の自慢の 栗おこわ

石岡 石塚 芳華
泥に埋もれた 家財を前に
老いの背中は ただ無言

南台 香俱耶姫
伊香保名物 温泉饅頭
元祖誇りの 湯気が立つ

国府 坂下 蜻蛉
親の木々から 別れた葉たち
風につれられ 旅に出る

鹿の子 田村こまくさ
神に願うも 届かず被災
避難生活 無事祈る

東光台 福田 泰夫
アメヤ横町 老若男女
札が飛び交う 年の暮れ

杉並 助川 浩史
予防注射を 早々済ませ
老いた体も 冬仕度

国府 篠原 美千代
山の香りを お鍋に移し
囲炉裏かこんで 茸汁

川柳

いしおか川柳会

石岡 北白川 令
持て余す時間たつぷり大欠伸
小幡 高橋 房子
おしやれする老いの心のよりどころ

柿岡 永瀬 敬子
日本語で言ってくれば解るのに

投稿作品

柴内 羽生 俊
冬至風呂柚子を浮かしてひとり
なり明日も入るや独り言云う

第17回 いしおか俳句同好会

文化協会だより

私たちは「俳句を楽しく生き甲斐に」を信念に、趣味の俳句作りに勤しみ、健康で充実した日々を送れるよう勉強をしています。 **定例勉強会**

開催日：毎月第3日曜日（10月以外）
時間：午後1時～ **場所**：府中地区公民館
内容：当季雑詠3句提出。俳句歴60余年の小池会長による指導のもと、季節ごとにその時期に合った俳句を詠みます。

吟行句会
10月下旬、美しい自然に触れて、俳句の目や心、五官を働かせて自分にしか見えな

いものを探し、詩（句）に表現する勉強の機会である場です。

文化祭参加俳句大会
毎年10月第1日曜日に府中地区公民館にて開催。大勢のお客様との交流、他人の作品に触れての感動、そして自分の作品の出来映えを確認できる楽しい一日です。あなたも五・七・五で松尾芭蕉に近づけます。毎日が新鮮で輝くこと請け合いです。

会員数：29名 **年会費**：2,000円
問い合わせ先：いしおか俳句同好会事務局 一色しのぶ
Tel 22-4819